

2022年度 【児童デイサービスともいき】自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	所見、工夫している点など	保護者様からのご意見・ご要望と その対応など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			通所生活介護の一部のスペースを共有フロアとし、時間帯を分けてパネルで区別して過ごしていただいています。	コロナ禍でのサービス提供が長期化し、2022年度末時点でも家族の施設内立ち入りを自粛していただいている為、児童が過ごしている様子を実際に確認する機会が少ない状況でご回答頂いています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			職員配置は、必要な時間に必要人数を配置するように手配していますが、慌ただしい一部の時間帯では、人手不足を感じる時間帯もあります。役割分担や職員間の連携の取り方等、一層の工夫を行いたいと考えています。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○				
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			昨年は「いいえ」回答でした。その反省から、情報交換ノートの活用や日々のコミュニケーションを大切に運営に努めてきました。	-
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか			○	ご家族からご回答いただく評価アンケートの項目では、概ねポジティブな回答を頂いていますが、更に多くの内容でご家族の意見を伺いながら質の向上を目指していきたいと思えます。	-
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			毎年、法人ホームページにて情報を公開しています。	-
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			第三者機関からの評価は行っていませんが、法人内の療育センターと連携し、相談・助言を受けられる環境があります。	-
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか			○	感染予防研修等の必要な研修には代表者が参加し、内容の周知を図っています。また、虐待防止・医的ケア児の対応等、動画研修の案内を行い、職員の資質向上に努めています。	-
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			日々の支援をアセスメント場面と定めて成長や変化を記録・共有して次の支援に活かせるように努めています。	全て「はい」の回答を頂いています。日々の支援と情報共有の中で、課題を検討して、児童利用者の成長に繋がる計画作成を継続してまいります。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			2019年にアセスメントフォームを更新しましたが、より活用しやすいフォームの変更を予定しています。	-
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか			○	活動担当を決めて、他職員の意見も確認しながらプログラムを決定しています。しかし、マンネリ化してしまう部分もあり、改めて活動支援体制の見直しを始めています。	コロナ禍である事も直接ご意見をいただく機会は設定できていませんが、活動内容や児童利用者の反応をお伝えしています。その話から「楽しんでいると思う」との回答を多く頂いています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				
適切な支援の提供	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			滞在時間により、プログラムが変わるため、その内容に合わせて生活課題を検討しています。	-
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			また、個別支援計画の充実の為、個別活動を実施しています。楽しみながら過ごせる支援の提供と、課題に対する計画的な推進のバランスは難しく、今後も工夫を重ねていきたいと思えます。	-
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			職員によって勤務時間が異なるため、支援終了時に全員が集まって行うことはありませんが、その日の出来事等は記録に残し、翌日の受け入れ前の申し送り確認を行い共有しています。	-
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	また、日々の気持ちは気軽に共有出来る様に情報交換ノートを作成し支援に対する想いを共有しています。	-
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日報には、主観的観測ではなく、客観的事実の記載を心掛け、その情報を元に支援を検討しています。支援は提供することももちろん、第三者へ説明できる記録が合って初めて支援になることを共有しています。	-
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			毎月モニタリングの記録を作成し、支援の振り返りと、今度の対応の確認を行っています。	-
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			ガイドラインを含めた、ともいき会における児童支援の指針を児童支援協議会で確認しました。継続してガイドラインの理解を深める取り組みを行ってまいります。	-
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか			○	コロナ禍での影響もあり、サービス担当者会議の開催はありませんでしたが、開催時には児発管が出席出来るように調整できる準備をしています。	-
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか			○	連絡ノートを基本に連絡を取っています。特に課題になることに関しては、電話連絡を行なう事もありますが、まだまだ不十分な状況です。	-
	㉒	医的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	2022年度、新規での受入・医的ケアが必要な児童の利用はありませんでした。ご希望があった場合は、関係各所と連携をとりながら、安心・安全・安定したご利用に繋げられるように支援を整えてまいります。	-
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○		-

関係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		進路の決定連絡を受けた際は、情報提供を行なわせて頂く旨の説明を行なっています。また、要請があれば移行支援会議の参加調整も行なっています。	-
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	研修日程が合わず研修を受けることはできませんでしたが、法人内に地域療育センターがあり、必要に応じて連携がとれる体制があります。	-
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	コロナ禍において、放デイ利用者・職員以外との接触は自粛しています。	ご家族から積極的な希望はありませんでした。感染症のリスクも含め、外部との交流に対してメリット・デメリットを考慮して悩まれている印象を受けています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	法人のサービス管理部長が地域自立支援協議会の子ども部会委員として参加しています。コロナ禍で協議会の会合なども定期開催が難しい状況でした。	-
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡ノートや、送迎での引き渡し等の直接ご家族にお会いした際に、その日の状況を伝え、ご家族からご家庭での日々の状況をお知らせ頂き、課題解決に向けて支援を検討しています。	全て「はい」の回答を頂いています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	その上で、ご自宅での対応の参考にもしていただける様に利用中の支援方法等をお伝えしていますが、「トレーニング」としての対応は行っていません。	-
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に、重要事項の説明と合わせて実施しています。	全て「はい」の回答を頂いています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		連絡ノートでの情報交換の他、送迎時や保護者来訪時に適切に行なうように努めています。	「どちらともいえない」との回答が3件挙がりました。必要な相談支援が行えるように更に心掛けていきたいと思えます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	コロナ禍において、実施は自粛しておりますが、感染対策と合わせて、今後の方針を検討していきたいと思えます。	ご家族から積極的な希望はありませんでした。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		法人として、要望・苦情受付体制を整えています。日々のご家族との情報交換の中で、苦情になる前の段階で対応が出来るように心掛けています。ご希望に沿えない場合でも、丁寧な説明を心がけ、可能な代替案の検討も行なっています。	全て「はい」の回答を頂いています。臨時休所に関しては、ご迷惑をおかけし、事業継続のご希望等を頂きましたが、丁寧な説明を心がけてご理解を頂きました。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		放デイ版の広報誌を発行して、日々の活動の様子や今後の予定を発信しています。2022年度は3月に発行して2回の発行となる予定です。	ほぼ全て「はい」の回答を頂いています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		日々の支援の中で、個人情報の管理等についても啓蒙を行ない守秘義務に努めています。	全て「はい」の回答を頂いています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		児童に対しては、利用中に楽しみながら文字の読み書き・発声練習を実施しています。家族に対しては、ともいきノート・送迎時等に適切に情報交換を行なうように努めています。	全て「はい」の回答を頂いています。ご家族からの情報や、支援検討のヒントになることも多い為、今後も情報共有・連携をしながら支援を実施していきます。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	コロナ禍において、実施は自粛しております。	-
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		2022年度は、感染予防対策として臨時休所となること4回ありました。夏には1か月間の長期の休所となってしまいました。その反省を活かし、その後の臨時休所時は最短期間の休所で事業が再開出来るように努めてきました。BCP(事業継続計画)はありますが、これまでの経験を活かしてより機能する計画に更新を進めています。	臨時休所等により、利用児童・ご家族にはご不便とご心配をお掛けしてしまいました。単独事業所ではなく、複合型施設である点も含めて感染対策に対してご理解とご協力を頂いています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○	避難訓練は、法人として年3回行いましたが、感染予防の観点から放デイ合同の実施は控えています。その結果として、緊急時避難方法等の周知・徹底はできませんでしたが、	避難訓練等に関しては、その周知に至らず「分からない」との回答を多く頂いています。次年度は、放デイ事業としてどの様に対応をしていくのが周知をしながら、より安心してご利用いただける様に対応を強化していきたいと思えます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○	職員調査時点では、まだ実施していませんでしたが、その後に虐待防止研修を施設内研修、外部の動画視聴研修を実施しました。	-
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		法人の虐待防止マニュアルと身体拘束適正化の手引きも改訂し、2月から運用を始めています。完全に周知・徹底できるまで、継続的に取り組んでいきたいと考えています。	-
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	2022年度も、食物アレルギーのある対象児童はいません。代替食等の必要があれば、管理栄養士と連携のもと、対応できる体制があります。	-
家族満足度	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		放デイ単独の集計はしていませんが、法人全体で、アクシデント・インシデント・ヒヤリハットの集計と分析を行い、KYTをはじめとする注意喚起を行なっています。	-
	44	お子様は通所を楽しみにされていますか?	○		-	ほぼ全て「はい」の回答を頂いています。活動内容や職員の関わりなど、更に楽しさを増すことができる支援を目指していきます。
	45	事業所の支援に満足されていますか?	○		-	全て「はい」の回答を頂いています。継続してご満足いただける支援を目指していきたいと思えます。